

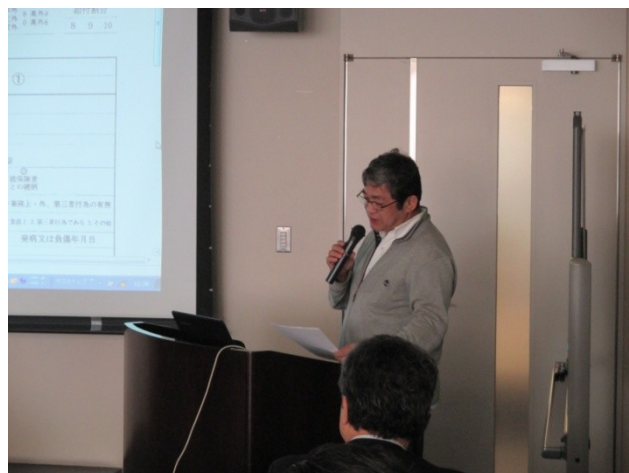
冬季学術講習会および意見交換会が開催されました！



12月18日(日)、郡山市・ビッグアイ7階会議室にて冬季学術講習会が開催され、約30名の会員が参加されました。

午前中は益子勝良先生の「スポーツ外傷」のご講演。骨の解剖・生理から始まり、骨折、シンスプリント、コンパートメント症候群、肉離れ・筋挫傷といったスポーツ障害を解説していただきました。レッグヒールアライメントの異常から発生する、下腿とスポーツ障害の関連性のお話は役立つ情報でした。

益子先生の次は、保険部長 橋本修一先生の療養費等適正指導者研修会。11月分の請求から個人請求となり、これまでのように審査会がレセプトをチェックできなくなりました。従って、今後は請求される各先生方がチェックして提出することになります。橋本先生からはレセプトにおいてミスが多い箇所と往療料の留意事項についてご説明がありました。今後も適正な運用をお願いいたします。



お昼前には「公益財団法人 東洋療法研修試験財団生涯研修表彰状」の授与式が行われました。今回は遠藤賢一先生、柏原修一先生、永山剛士先生、箱岩義郎先生、米倉良平先生、以上5名の先生方が生涯研修修了証書を5回取得されましたので表彰されました。写真は代表で授かる柏原修一先生。年3回の学術講習会やボランティア治療、全国大会等に参加し、25単位を取得すると1回とカウントされます。研鑽は日頃の積み重ねが大切ですね。

午後は鈴木朋子先生(福島県立医科大学 会津医療センター 漢方医学講座)のご講演。既存の医療では良くならなかったが、湯液を併用したことで寛解が見られた症例をいくつも解説していただきました。豊富な症例と画像、アカデミックな解説は、医科向けの専門的な内容でした。呼吸器が専門の鈴木先生は『風邪・肺炎、気管支喘息や COPD 等に漢方を使うことは大変有意義なことである』と述べられておりました。



最後は「プライマリ・ケアと多職種協働」と題して、きらり健康生協 上松川診療所 春日良之先生がご講演されました。2005年からプライマリ・ケア宣言をされている春日先生。拝聴させていただき、「利用者の意志や価値観を重視する患者中心の医療」を日々実践されている先生なんだと強く感じました。疾患や障害を治すことだけが医療ではなく、患者の生活を支えるのが医療の本質であると解説されました。

学術講習会が終わってから、会場を5階「はた野」に移し、春日先生を囲みながら意見交換会を開催しました。食べ放題のしゃぶしゃぶ、飲み放題のお酒やジュースをいただきながら、講習会では聞けなかった突っ込んだお話を聞き、会員同士で近況報告をし、賑やかな時間を過ごすことができました。

春、夏、冬と開催された本年の学術講習会はこれで終了となります。また来春より学術のアップデートを開始しましょう！



福鍼会からお知らせ

<災害時は会員へ安否確認を行います>

11月22日早朝、久しぶりに大きな揺れを感じました。その数時間後には各地域担当の先生方が会員の安否確認を行いました。今後、こうした災害等が起こった際は、皆さまからお知らせいただいた連絡先へ安否確認を行いますのでご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

<いわきサンシャインマラソン ボランティア治療スタッフ募集>

来年2月12日(日)、いわきサンシャインマラソンが開催されます。福島県鍼灸師会としてボランティア治療に参加することが決定。ただいまスタッフ募集中です！2月は温暖ないわきへ！

